

## 第6学年 家庭科学習指導案

日 時 平成24年11月6日(火) 4校時  
学 級 奥州市立真城小学校 6年2組  
男子16名 女子11名 計27名  
場 所 6年2組教室  
指導者 教諭 及川 直美

1 題材名 工夫して生活に生かそう  
～めざせ、エコ名人!～

2 指導にあたって

(1) 題材について

本題材は、「D身近な消費生活と環境」の(1)「物や金銭の使い方と買物」のイ、(2)「環境に配慮した生活の工夫」のアと「C快適な衣服と住まい」の(3)「生活に役立つ物の製作」、「A家庭生活と家族」の(1)「自分の成長と家族」のア、(3)「家族や近隣の人々とのかかわり」のアとの関連を図っている。エコ生活を柱としてクリーン活動と製作活動に取り組む学習活動である。

既製品が安価で手軽に手に入る今日、児童の落とし物の様子などを見ると、持ち物への執着が薄れてきていることを感じる。物を大切にすゝる気持ちや態度を育てることは、児童のこれからの生き方を考えたときに大切なことであり、今、まさに必要なことである。そこで、自分の生活と身近な環境とのかかわりに関心を持ち、物の使い方などを見直すことができるように本題材を設定した。また、本題材では、身の回りにある布を材料として、生活に役立つ物を製作する。既製品をひと工夫することによって、自分の嗜好を取り入れたり、必要に応じて付け加えたりして、物に愛着をもつことができる。製作のポイントをとらえることは、購入する際の選ぶ目を育むことにもなる。また、製作過程を知ることによって、修理のしかたに気付き、物を長く大事に使おうとする姿勢につながることを期待したい。そして、学んだことを家庭での実践につなげていこうとする態度を育てたい。

(2) 児童について

児童は、これまでに、衣、食、住、消費生活それぞれの学習において、自分の生活が環境とかかわっていることを学んできている。製作活動については、手縫いやミシン縫いで物を作ることに楽しさを感じながら取り組んでいる。5学年では、フェルトで小物を作ったり、修学旅行に使用するという目的をもってナップザックを作ったりするなど、意欲的に学習活動を進めてきた。また、6学年になってからは、「衣服を気持ちよく着るために」の学習で、修理について学び、紅白帽子のゴムをつけ直したり、ボタンをつけ直したりすることに取り組んだ。

日常生活における実践状況を調査した結果は、次のとおりである。

自分の仕事として、清掃に取り組む。	81%
洗剤の使いすぎに気をつける。	92%
ごみを分別して片付ける。	96%
ボタンがとれたら付ける。	34%
針と糸を使って、ほころびなどを直す。	19%
針と糸を使い、手縫いで物を作る。	28%
ミシンで物を作る。	19%
いらなくなった物を活用して、何か別な物に作り変える。	25%

調査結果から、日常生活の中で裁縫に取り組んでいるのは、少数の児童であることが分かる。家庭では、家族にしてもらおうことが多く、自分でできることであっても、なかなか実践には結びついていない。そこで、家庭と連携し、取り組みカード等を活用するなどして実践の機会を増やしていく必要があると考える。不用品の利用については、油処理用の布や雑巾にしたり、小物やバッグ等に作り替えたりして家庭で活用していることを知っている児童もいる。しかし、多くは「よく知らない」と回答し、中には「捨てる」と回答した児童もいる。そのような実態から、不用になった物に関心を向け、活用して生活に役立てるといふ経験をさせたいと考える。

(3) 指導について

本題材を貫く課題として、「エコ生活」に注目させ、環境を考えた生活の大切さに気付かせていく。題材の導入時に設定した学習問題や授業の学習感想を次時以降の学習へつなげ、活動を通して実践する意欲を高めていく。

小学校の家庭科で習得すべき製作技能のうち、現段階でまだ習得できていないことがある。それは、大きさと位置を決めること、布端の処理をすること、生活に役立つ物を考えること、計画を立てて作ること、

目的に応じて適切に縫うこと、方向変えをしてミシン縫いをする事等である。そこで、本題材において、それらの技能を習得できるように活動の展開を工夫していく。また、できるようになったことを生かして生活を便利で楽しくしていこうとする姿勢、自分の手で生活を工夫していこうとする態度を育てていきたい。指導にあたって、特に工夫したい点は次の4点である。

- ① 繰り返しの体験によって基礎基本の定着を図る。  
5年生以来の製作活動となるので、雑巾やエプロンの製作によって、手縫い・ミシン縫いの基礎基本を確認しながら取り組み、リメイク製作へとつなげるようにする。
- ② ストーリー性のある展開を考え、目的意識をもった活動にする。  
疑問に思うことを調べたり、必要な材料を集めたりしたくなるように、題材の構想を工夫する。作ったものを使うことによって、製作の楽しさやよさを味わっていただけるようにする。
- ③ 問題解決的な学習を位置づけ、言語活動の工夫を図る。  
問題点を含む教材を提示し、改善方法を考えさせる。グループの話し合い、全体での広め合いにより、分かったことを整理し、次の活動に取り入れていただけるようにする。
- ④ 活用型の問題提示を行い、家庭生活での実践に結びつける工夫をする。  
次時の伏線となるようなオープンエンドの授業も取り入れていく。また、学習カードを活用し、児童の実践意欲へ結びつくようにする。「学校練習、家本番」を合い言葉に、家庭生活に生かす姿勢を育てていく。

### 3 題材の目標

	快適な住まい方	生活に役立つ物の製作
家庭生活への 関心・意欲・態度	自分の生活と身近な環境とのかかわりに関心を持ち、物の使い方などを見直し、環境に配慮した生活をしようとする。	布を用いた生活に役立つ物に関心を持ち、目的に応じて工夫してつくろうとする。
生活を創意工夫する能力	自分の生活を見直し、掃除の仕方、ごみの始末や不用品の活用など、環境を考えた生活の仕方を工夫することができる。	製作計画や環境に配慮した材料の使い方、作り方について考え、まとめたり発表したりすることができる。
生活の技能	ごみの始末や掃除の工夫、不用品の活用をすることができる。	布等の材料を効果的に活用し、目的に応じた縫い方で製作することができる。
家庭生活についての 知識・理解	環境に配慮した生活の仕方について理解する。	目的に合った布地の選び方、裁ち方、縫い方、製作手順について理解する。

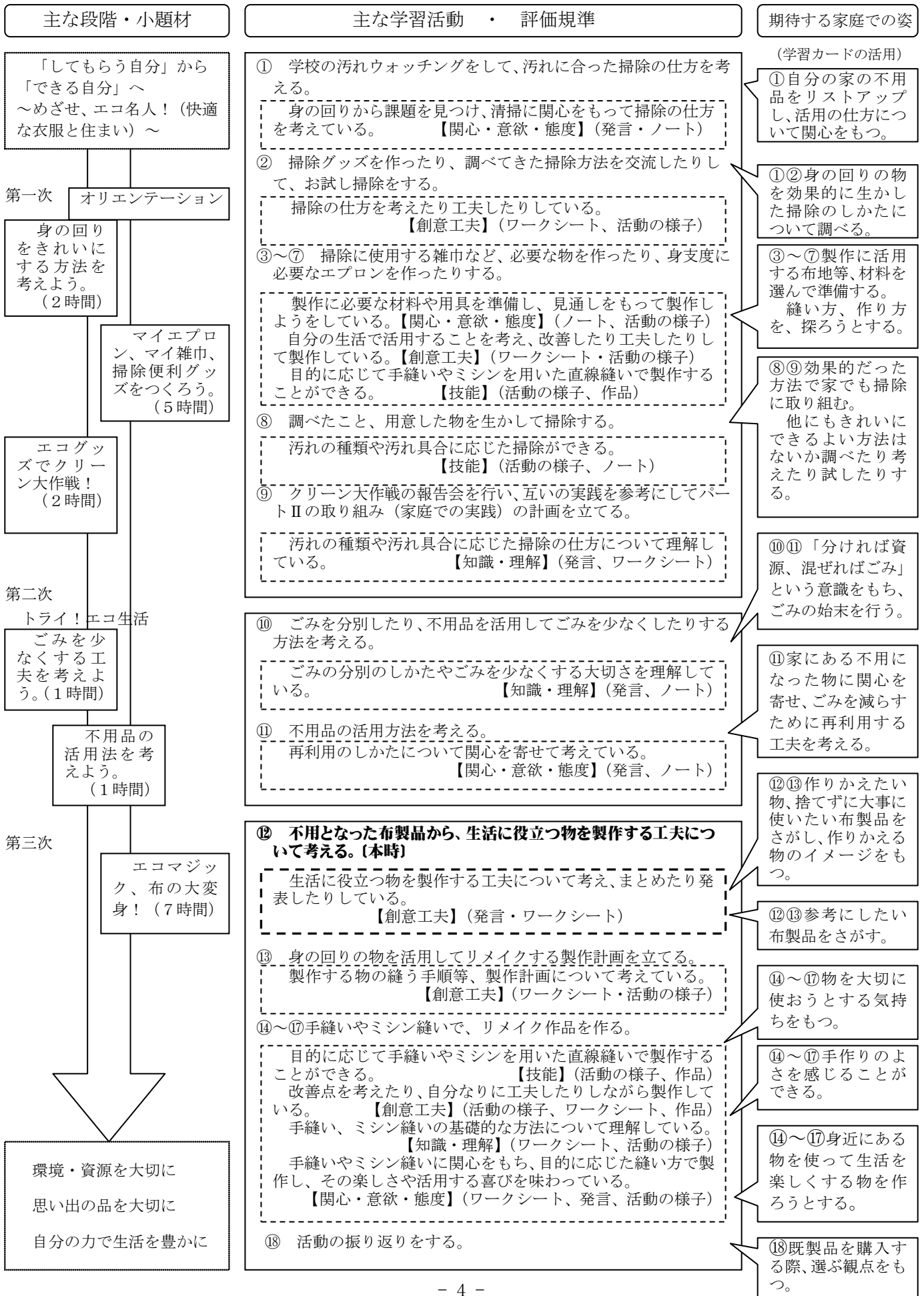
### 4 指導の系統

家庭科	生活に役立つ物の製作	他の教科等
5年テーマ「できることを増やしていこう」 「はじめてみよう ソーイング」	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">手縫いに関心を持ち、なみ縫い、返し縫い、かがり縫いやボタンつけなどができる。</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ミシンに関心を持ち、安全に操作して直線縫いができる。 布に関心を持ち、製作計画を立てて製作し、生活に生かそうとする。</div>	
6年テーマ「くふうして、生活に生かそう」 「生活を楽しくしよう ソーイング」	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">布を用いた生活に役立つ物に関心を持ち、目的に応じて工夫してつくることができる。 製作の楽しさや活用する喜びを味わうことができる。</div>	
中学	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">(3) 衣生活、住生活などの工夫 ア 布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。 イ 衣服又は住まいに関心を持ち、課題をもって衣生活又は住生活について工夫し、計画を立てて実践できる。</div>	

家庭科 快適な住まい方	他の教科等
<p>5年テーマ「できることを増やしていこう」 「かたづけよう身の回り」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>身の回りの整理・整とんに関心を持ち、気持ちよくすごそうとする。 整理・整とんの仕方がわかり、工夫することができる。</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>6年テーマ「くふうして、生活に生かそう」 「きれいにしよう クリーン大作戦」</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>住まい方に関心を持ち、工夫してそうじすることができる。 ごみの始末や不用品の活用の仕方を工夫し、環境を考えた生活の仕方がわかる。</p> </div> <p>中学</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(2) 住居の機能と住まい方 ア 家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知る。 イ 衣服又は住まいに関心を持ち、課題をもって衣生活又は住生活について工夫し、計画を立てて実践できる。</p> </div>	

家庭科 環境に配慮した生活の工夫	他の教科等
<p>5年テーマ「できることを増やしていこう」 「はじめてみようクッキング」 ・環境を考えてあとかたづけをしよう。(ガス・水の節約)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「はじめてみようソーイング」 ・布(フェルト)の裁ち方を工夫しよう。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「できるようになったかな家庭の仕事」 ・仕事をするとき環境のために気をつけること ・不用品の活用</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「じょうずに使おう 物やお金」 ・買い物名人になろう。(品質を確かめて買う。最後まで使い切れる物を選ぶ。捨てる時のことまで考えて買う。エコマーク)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「寒い季節を快適に」 ・住まいであたたかく過ごす方法</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「環境を考えた『エコライフ』をくふうしよう」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>6年テーマ「くふうして、生活に生かそう」 「くふうしよう 朝の生活」 ・使ったフライパンの後始末</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「暑い季節を快適に」 ・すずしい住まい方、環境に配慮した住まい方 ・洗濯と環境</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>「きれいにしよう クリーン大作戦」</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>・トライ!エコ生活(環境を考えた生活の仕方)</p> </div> <p>中学</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>(2) 家庭生活と環境 ア 自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践することができる。</p> </div>	<p>◆寒い地域の人びとの生活(社会5年) ◆空気と温度(理科4年)</p> <p>◆水のゆくえ(社会4年)</p> <p>◆太陽と地面のようす(理科3年) ◆葉の蒸散作用(理科6年) ◆ごみの処理(社会3、4年) ◆江戸時代のリサイクル(社会6年) ◆人と環境(理科6年)</p>

5 題材の指導・評価計画（18時間）



6 本時の指導(12/18)

(1) 目標

不用になった物から生活に役立つ物を作るときの工夫について考え、まとめたり発表したりすることができる。

(2) 展開

段階	学習活動 (○発問・指示)	時間	学習内容	教師のかかわり方 ☆評価 (方法)		
みとおす	1 前時の学習を想起する。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「整理・整頓に役立つ物」「掃除、買い物など、仕事に役立つ物」「食事や団欒などの生活に役立つ物」など、生活に役立つ物を想起する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童から挙げられた「生活に役立つ物」を提示し、意欲を高めるとともに、製作する物を決めるヒントとして活用できるようにする。</li> </ul>		
	2 学習課題をつかむ。				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">                     ～エコマジックで大変身！！～                      生活に役立つ物にリメイクするポイントを考えよう。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師が製作した物を提示し、本時へとつなげる。</li> </ul>
ふかめる	3 提示されたリメイク作品から、問題点を見つける。	30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題点のあるリメイク作品を手に取り、材料の生かし方、縫い方などについて気づいたことを話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布の素材、大きさ、縫い方等に課題のある手作り品を提示し、児童が手に取りながら考えることができるようにする。</li> </ul>		
	4 見つけ出した問題点について改善方法を考える。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りにある布製品と比べたり、使用場面を想起したり、試したりして、改善方法を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆとりを含めた寸法の決め方、布端の処理の仕方、丈夫な縫い方についてふれるようにする。</li> <li>・用途に合う布地の選び方について取り上げる。</li> </ul>		
	5 布製品の元の形を生かして作るよさについて考える。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・提示されたリメイク作品の中から、元の形を生かして製作したものに着目し、そのよさについて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・布製品の特徴を生かした製作例を紹介する。</li> <li>・直して使うことの大切さにも気づかせるようにする。</li> </ul>		
まとめる	6 課題についてまとめる。 【評価規準Bの例】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「役立つ物」にリメイクするには、どのようなことに気をつけて作ることが大切かをまとめる。</li> <li>・自分の製作にどのように活用していきたいかを考える。</li> </ul>			
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     生活に役立つ物にリメイクするには、元の形を生かして作るとよい。適した布地を使うこと、適した大きさにすること、丈夫に作る大切である。                 </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     【評価規準】 (評価の観点：生活を創意工夫する能力)                      生活に役立つ物を製作する工夫について考え、まとめたり発表したりすることができる。                 </div>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     わたしは、物を出し入れしやすいように、ゆとりを加えて布の大きさを決めたい。                 </div>				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     B                 </div>	努力を要すると判断された児童への具体的な手立て
					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     丈夫に作ること、適した布地を使って目的に合ったものを作る大切さについて考え、まとめたり発表したりしている。                 </div>	友達の考えを手がかりにしたり、布を手にとって考えたりするように支援する。

	7 学習を振り返る。	10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習を振り返り、自己評価をする。</li> <li>・気付いたこと、考えたこと等、学習感想を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分以外の誰かのためにつくることのよさも取り上げる。</li> <li>・次時は、各自材料を持ち寄り、製作計画を立てることを知らせ、活動をつなぐようにする。</li> </ul>
--	------------	-----	---	---

(3) 板書計画

～エコマジックで大変身!!～  
生活に役立つ物にリメイクするポイントを考えよう。

「整理・整とんに役立つ物」	「掃除、買い物など、仕事に役立つ物」	「食事や団らんなどの生活に役立つ物」	その他
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"></div>
袋類 ウォールポケット 小物入れ 眼鏡ケース 上ぐつ入れ	エコバッグ 三角巾、エプロン アームカバー アームバンド	カバー なべつかみ ティッシュボックスカバー お弁当包み ペットボトルカバー	シュシュ

---

身の回りにある使わなくなったもの (布で作られた物)

シャツ、ズボン、パジャマ ハンカチ、バンダナ、ランチョンマット

<b>布地の選び方</b> ・のびない布地 ・厚さ ・折り目の付きやすい布地 ・ほつれにくい布地 ・洗たくしやすい布地	<b>大きさ</b> ・寸法 ・ゆとり ・ぬいしろ  <b>布の裁ち方</b> ・底は輪 ・元の形を生かす ・柄を生かす	<b>丈夫なぬい方</b> ・返しぬい ・二度ぬい ・玉結び ・玉どめ  二本どり ミシンぬい	<b>布端の処理</b> ・三つ折りぬい ・二つ折り (内側)
--	--	--	---------------------------------------

無駄なく  
くり返し使う  
元を生かす

環境・資源

思い出の品を大切に

まとめ

元の形・柄

適したもの

丈夫

生活に役立つ物にリメイクするには、元の形や柄を生かして作るとよい。適した布地で、適した大きさになるように、丈夫に作る事が大切である。